新役職者紹介

任期は2023年4月から2年間

新学部長

■法学部長

田頭章一（たがしらしょういち）法学部法律学科教授

■経済学部長

竹之内秀行（たけのうちひでゆき）経済学部経営学科教授

■外国語学部長

木村護郎クリストフ（きむらごろうくりすとふ）外国語学部ドイツ語学科教授

新研究科委員長

■神学研究科委員長

ホアン・アイダル神学部神学科教授

■法学研究科委員長

奥田純一郎（おくだじゅんいちろう）法学部法律学科教授

■経済学研究科委員長

蓬田守弘（よもぎだもりひろ）経済学部経済学科教授

■言語科学研究科委員長

村田真一（むらたしんいち）外国語学部ロシア語学科教授

■グローバル・スタディーズ研究科委員長

スヴェン・サーラ国際教養学部国際教養学科教授

■地球環境学研究科委員長

黄光偉（ホアン グアンウェイ）地球環境学研究科地球環境学専攻教授

■応用データサイエンス学位プログラム運営委員長
大槻東巳（おおつきとうみ）

新センター長

■学生センター長

理工学部機能創造理工学科教授

■研究推進センター長

永野仁美（ながのひとみ）法学部国際関係法学科教授


竹岡裕子（たけおかゆうこ）理工学部物質生命理工学科教授

2023年度より本格稼働
セルフ学修ポートフォリオ
学生の自律的な学びを支援する

4月より、学生の自律的な学びを支援するツール「セルフ学修ポートフォリオ」が本格稼働した。すでに2022年度9月入学の学部生を対象に一部の機能でスタートしていたが、新年度からは利用メニューが大幅に拡大され、すべての学部の新入生および在学生が利用可能となる。

「セルフ学修ポートフォリオ」は学生が自らの学びを自律的に管理・確認していくことを支援するシステムで、学生が生涯学び続けられる能動的な学修姿勢を身につけ、自身のさらなる成長につなげることを目指している。具体的には、学修や学生生活における目標を設定し、大学での学びや活動を記録しながら、学生生活を継続的に振り返り、次に取り組むべき課題を見つけるサイクルの確立を促進する。

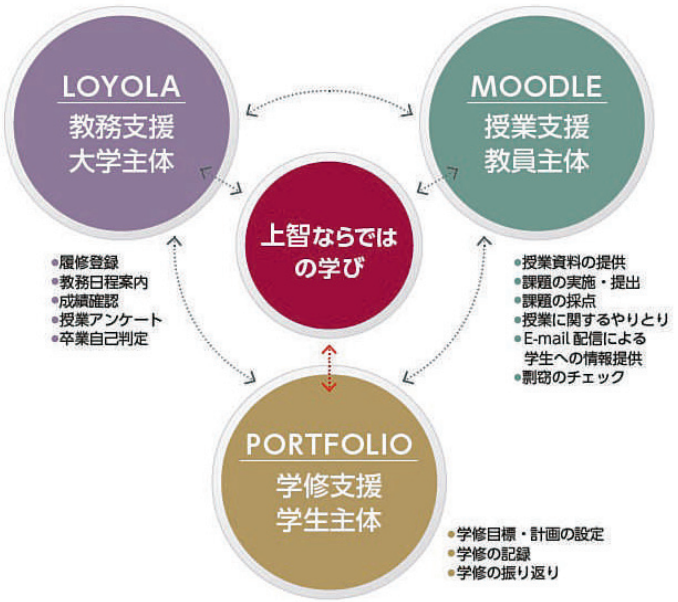
主なメニューの1つ「科目・記録」では、教務システムLoyolaから連携された自身の履修科目のデータが表示され、科目ごとに学修を記録したり、レポートなどの成果物を登録できる。

「学修状況」メニューでは、自身の学期ごとのGPA、累積GPA、修得単位数、累積単位数がグラフで表示され、同じ学年の平均値と比較することができる。

また「語学・留学」メニューでは、自身の語学スコアの推移を確認できるほか、本学で実施している留学プログラム別に、留学先や留学中に履修した科目や学修の記録、成果物の登録が可能となっている。さらに「課外活動」メニューでは、年度ごとに参加しているサークルやボランティア、アルバイトなどの課外活動についても記録できる。

各学年末にはこれまでの学修成果や目標の達成度合い、活動記録などを振り返り、次の学年の目標設定に生かせる。この記録の蓄積によって、教員への相談時や、就職活動において、自己分析ツールとしても役立つ。卒業時には自らが蓄積したデータを大学時代の歩みとして保存し、さらなる学びへと活用していくことが期待される。

●上智大学におけるセルフ学修ポートフォリオの位置づけ



セルフ学修ポートフォリオは、学生自身が「自律した学修者」として学びをデザインしていくためのツールです。教学支援システムの「Loyola（ロヨラ）」、授業支援システムの「Moodle（ムードル）」と連携しながら、上智大学ならではの学びをサポートします。

上智学院中高4校の生徒と上智生が集う
「SDGsアイデアコンテスト」を開催

3月21日、上智学院では中高4校（栄光学園・神奈川、六甲学院・兵庫、広島学院・広島、上智福岡・福岡）の生徒を対象に、今後の社会を担う未来世代の成長の場として「SDGsアイデアコンテスト」を四谷キャンパスで開催した。当日は一次審査を通過した4校の生徒31人に加えて、コンテストの企画、運営を担当したサステナビリティ推進本部の学生職員（上智生）11人が参加。中高生と上智生が初めて一堂に集まった。

学校と学年の枠を超えた4人の中高生の中に、ファシリテーターの学生職員が1人ずつ加わってひとつのチームになり、計8チームでアイデアを競った。


学校と学年の枠を超えアイデアを出し合う


メダルを授与される最優秀賞チーム

大会のテーマは「持続可能な社会を共に創る仲間を増やせ！チームワークで考える『未来の学びのアイデア』」。大勢の人にSDGsへ関心を持ってもらう方法について、各チームで自分の経験や知識をもとに活発に意見交換を行い、アイデアを膨らませた。上智福岡の地元の博多駅を舞台にしたものや、テーマパークに着想を得たものなど、中高生のオリジナリティ溢れる視点でアイデアが次々と提示された。

審査の結果、最優秀賞に持続可能性をテーマにしたボードゲームでの学び「人類ゲーム」が選ばれた。その他、優秀賞にSDGsの内容を学べる「世界初！体験型SDGsパーク」、特別賞には無駄遣いをなくす「あまりものでリメイク!!in公民館」が選出され、審査委員長のサリ・アガスティン サステナビリティ推進本部長から表彰状と副賞が授与された。最後は参加者全員で記念撮影をし、盛況のうちに閉会した。

最優秀賞チームの大崎敬太さん（六甲学院・中学2年）は、「違う意見も試してみることで、よりよいアイデアが生まれることを学びました。環境、年齢が違った仲間たちと話すことで、思いがけない発想が生まれてくるのが楽しかったです」と話す。また、同チームのファシリテーター、山本葉月さん（総グ4）は、「本気で意見をぶつけ合い最終的にはチームとしてひとつのアイデアを作り上げるという素晴らしい経験に立ち会うことができ、大学生の自分にとっても大きな学びになりました」とコンテストを振り返った。

学生の父母・保証人の皆さま
対面開催の地域懇談会にご参加ください
4年ぶり全国12都市で開催

6月4日から7月9日にかけて、第56回上智大学地域懇談会が4年ぶりに全国12都市で開催される。学生の父母・保証人を対象に、本学の教育方針を説明するとともに、最近の大学の状況や取り組み内容について紹介することが目的。

東京会場（四谷キャンパス）では、午前に全体集会で大学の現況や上智大学後援会（父母会・保証人の会）の活動を紹介。続いて就職・留学説明会、学科別集会が行われる。午後は懇親会、教員との個人面談、就職・留学に関する個人面談や、カウンセラーによる相談も行われる。学科別集会はオンラインでの参加も可能。

東京地区以外の地方会場では全体集会と懇親会が行われる。

参加方法やプログラムの詳細については4月下旬から順次保証人宛に発送する案内状に記載している。問い合わせは総務グループ地域懇談会担当まで。

▼TEL03（3238）3172

2023年度　第56回　上智大学地域懇談会　開催日程・会場

会場番号	開催地	開催日	会場名
1	東京A	6月4日(日)	上智大学　四谷キャンパス
2	仙台	6月10日(土)	TKPガーデンシティPREMIUM　仙台西口
3	札幌	6月11日(日)	札幌グランドホテル
4	大阪	6月11日(日)	ホテル阪神大阪
5	新潟	6月17日(土)	ホテルオークラ新潟
6	松本	6月17日(土)	ホテルモンターニュ松本
7	広島	6月17日(土)	TKPガーデンシティPREMIUM　広島駅前
8	金沢	6月25日(日)	ANAクラウンプラザホテル金沢
9	福岡	6月25日(日)	TKPガーデンシティPREMIUM　天神スカイホール
10	名古屋	7月1日(土)	名古屋ガーデンパレス
11	静岡	7月2日(日)	ホテルアソシア静岡
12	徳島	7月2日(日)	ホテルクレメント徳島
13	東京B	7月9日(日)	上智大学 四谷キャンパス

●対象学部
会場番号1：文学部、総合人間科学部、経済学部、総合グローバル学部、国際教養学部
会場番号2～12：全学部
会場番号13：神学部、法学部、外国語学部、理工学部